

編集後記

学会誌の編集委員をおおせつかって1年半ほどになります。学部を卒業して研究というのを始めた大学院時代から、かれこれ10年ほど磁場閉じ込め核融合プラズマの研究をしており、「学会といえばプラズマ・核融合学会！」という感じで、他の学会にはほとんど参加することなく過ごしてきました。学生の頃は若手の夏の学校で他大学の学生と熱い交流(!?)を深めることもでき、毎年の年会ではいろいろな知り合いの方と会えるのが楽しみでした。

しかしながら、3年ほど前にちょっとした転機があってプラズマ応用の研究に手を出すことになり、これまでやっていた数m程度の真空容器の中で生成する磁場閉じ込め核融合プラズマの研究から、大気中で生成する数mm程度のマイクロプラズマ研究へと対象とするプラズマが一気にサイズダウンすることになりました。当然のことながら色々なパラメーターが大きく異なっているために、異なった考え方も必要になり、最初は苦労することも多かったのですが、しばらくすると、それなりに成果も出始めたので、ちょっと浮気心(?)を出して別の学会に参加し始めたり

しました。本学会とは少し縁が遠くなりそうだなと感じていたそんな矢先に、たまたま編集委員の仕事をしていただくことになりまして、以前よりも本学会に深く関わることになりました。これも何かの縁なのかもしれませんね。

今は、プラズマ応用の研究分野で微力ながら奮闘しているところですが、一つ驚いたのは、プラズマ応用の研究をされている人に核融合プラズマ研究がご出身の方が予想外に多いことです。応用に関する共同研究を行っているという日本企業の方(外国人)までも、学生の頃は祖国でトカマクの研究をしていましたとおっしゃっているぐらいです。

編集委員の仕事をしていただいたことにより、いろいろな方とも知り合えましたし、学会誌というのがどういふ風に作られているのか、そして実際に記事を担当する大変さがよくわかり、色々勉強になることが多いです。まだまだ若輩者ですが、私のホームグラウンドである本学会に少しでも恩返しできればと思っています。今後ともお世話になります。

(北野勝久)

プラズマ・核融合学会役員

会 長	松田慎三郎	副 会 長	佐藤浩之助	三間 園興	常務理事	中村 幸男 (総務委員長)
理 事	秋山 秀典 (企画委員長)		板垣 正文		今井 剛 (広告委員長)	
	奥野 健二 (プログラム委員長)		尾崎 章		加藤 敬 (財務委員長)	
	佐野 史道		田中 和夫 (編集委員長)		寺井 隆幸	
	畠山 力三		畑山 明聖		浜口 智志 (出版委員長)	
監 事	本島 修		森 雅博 (広報委員長)			
	藤山 寛		松尾 慶一			

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディター 田中和夫 (阪大)

エディター 岡子秀樹(九大), 田中雅慶(九大), 福山 淳(京大), 村上匡且(阪大), 室賀健夫(核融合研), 行村 建(同志社大)

編集委員 石黒静児(核融合研), 大矢恭久(静大理), 越智義浩(原子力機構), 加藤太治(核融合研), 北島純男(東北大院工), 北野勝久(阪大院工), 小口治久(産総研), 後藤基志(核融合研), 佐伯紘一(静大理), 酒井 道(京大院工), 神原 悟(核融合研), 佐藤紘一(京大原子炉研), 佐藤 聡(原子力機構), 佐藤杉弥(日本工業大工), 高山有道(核融合研), 田中照也(核融合研), 谷口和成(京都教育大教育), 長崎百伸(京大エネ研), 長友英夫(阪大レーザー研), 浪平隆男(熊大院自然), 野崎智洋(東工大院理工), 畠山賢彦(東北大金研), 花田和明(九大応力研), 林 伸彦(原子力機構), 平田孝道(武蔵工大工), 平松美根男(名城大理工), 吉川正志(筑波大院数理), 吉田弘樹(岐阜大工)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第83巻第11号

編集・発行

〒464-0075 名古屋市中種区内山3丁目1-1 4階

社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会

Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485

E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: <http://www.jspf.or.jp/> 定価1,365円(本体1,300円)

印刷 株式会社荒川印刷

2007年(平成19年)11月25日

本誌に掲載された寄稿等の著作権は(社)プラズマ・核融合学会が所有しています。

編集委員会開催日について 当学会誌の編集委員会は原則として、毎月第1火曜日に開かれています。但し、都合により変更になる場合があります。